

令和4年度

第2回定期監査  
結果報告書

(令和4年12月執行分)

御殿場市監査委員

04御監第343号  
令和5年1月27日

御殿場市長 勝又正美様

御殿場市監査委員 榊原敏彦  
御殿場市監査委員 高橋靖銘

### 定期監査の結果について(報告)

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、令和4年度第2回定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

# 令和4年度第2回定期監査結果報告書

## 第1 監査の対象

支所等	御殿場地域振興センター、富士岡支所、原里支所、玉穂支所、印野支所、高根支所
教育委員会教育部	高根中学校
議会事務局	議事課 会計課
消防本部	警防課

## 第2 監査の期間

令和4年11月25日から12月23日まで

## 第3 監査の範囲

令和4年4月1日から令和4年10月31日までの財務に関する事務事業の執行状況

## 第4 監査の方法

提出された監査書類による説明聴取及び関係諸帳簿の照合と施設の管理状況の実査

## 第5 監査の結果

監査の対象となった事務事業の予算執行及び会計事務処理は適正に執行されており、施設等の管理状況についても概ね適正であった。

法令、条例、規則等に違反している事項、又は経済性、有効性の観点から改善を要する事項など、特に指摘すべき事項は見受けられなかった。軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

所管毎の監査の概要は次のとおりである。

(注記)

- 1 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満は基本的には四捨五入した。したがって、合計額または差額が一致しない場合もある。
- 2 表中の金額の単位はその都度表示し、千円単位の場合は単位未満を四捨五入してある。したがって、小計・合計欄が一致しない場合もある。
- 3 文中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、構成比率の合計が100になるよう一部調整してある。  
また、収納率及び執行率は99.95%～99.99%の場合99.9%としてある。
- 4 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。  
「0.0」… 該当数値はあるが、表示単位未満のもの  
「—」… 該当数値がないもの、または数値を表示することが適当でないもの  
算出不能なもの、または増減率等の無意味なもの  
「△」… マイナスのもの
- 5 歳出予算執行状況は、人件費を除いた数値である。

## 支 所 等

### 1 監査の対象

御殿場地域振興センター、富士岡支所、原里支所、玉穂支所、印野支所、高根支所

### 2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項はなかった。

#### (1) 職員の状況

地域振興センター及び各支所は、所長(支所長)以下数名の職員が置かれ、地区振興スタッフにより組織されている。

地域振興センター及び各支所の職員の状況は、次のとおりである。

(単位:人)

区 分	職 員 数	会 計 年 度 任 用 職 員 数	計	備 考
御殿場地域振興センター	4 (0)	1	5	
富 士 岡 支 所	4 (0)	2	6	会計年度任用職員のうち1名は 半日勤務
原 里 支 所	5 (0)	1	6	
玉 穂 支 所	4 (0)	3	7	会計年度任用職員のうち1名は 半日勤務
印 野 支 所	4 (0)	1	5	
高 根 支 所	4 (0)	1	5	
合 計	25 (0)	9	34	

※職員数の( )は、出産休暇や療養休暇等による長期休職者数(内数)

#### (2) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・戸籍・住民窓口事務（地域振興センターを除く5支所）
  - 市 民 課 業 務：戸籍、住民基本台帳、印鑑登録・印鑑証明、埋火葬及び改葬許可
  - 国保年金課業務：国民健康保険・国民年金の資格得喪
  - 税 務 課 業 務：市税の諸証明交付 等
- ・地域振興事業（各地域の自治、文化、体育、教育、福祉等の振興に係る事務）
- ・地区区長会、各種団体との連絡調整
- ・支所及び会館の維持管理と運営
- ・地域防災に関すること（地震、その他災害対策等緊急時の連絡調整）
- ・財産区に係る事務（富士岡支所を除く4支所及び地域振興センター）
- ・東富士演習場に係る事務（東富士演習場の土地賃貸借契約事務、調査及び連絡調整）

(3) 予算の執行状況

各支所の歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

御殿場地域振興センター

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
繰 入 金	1,643,000	821,000	821,000	0	50.0	100.0

収入済額は、御殿場財産区繰入金(御殿場地域振興センター運営経費御殿場財産区繰入金(中間払分)) 821 千円である。

富士岡支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	145,000	38,420	47,500	△9,080	32.8	123.6
諸 収 入	18,000	13,229	13,229	0	73.5	100.0

収入済額の主なものは、富士岡振興会館使用料 48 千円である。

原里支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	50,000	59,220	59,220	0	118.4	100.0
繰 入 金	4,631,000	2,400,000	2,400,000	0	51.8	100.0
諸 収 入	132,000	107,896	107,896	0	81.7	100.0

収入済額の主なものは、原里財産区特別会計繰入金(原里愛郷会館維持管理費等原里財産区繰入金(中間払分)) 2,400 千円である。

玉穂支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	260,000	38,860	42,080	△3,220	16.2	108.3
繰 入 金	21,317,000	8,976,000	8,976,000	0	42.1	100.0
諸 収 入	173,000	107,422	107,422	0	62.1	100.0

収入済額の主なものは、玉穂財産区特別会計繰入金(玉穂報徳会館維持管理費等玉穂財産区繰入金(中間払分)) 8,976 千円である。

印野支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	100,000	2,160	2,160	0	2.2	100.0
繰 入 金	6,370,000	3,359,000	3,359,000	0	52.7	100.0
諸 収 入	60,000	42,322	42,322	0	70.5	100.0

収入済額の主なものは、印野財産区特別会計繰入金(印野振興会館維持管理費等印野財産区繰入金(中間払分)) 3,359 千円である。

高根支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	63,000	56,490	62,730	△6,240	99.6	111.0
繰 入 金	5,140,000	2,150,000	2,150,000	0	41.8	100.0
諸 収 入	48,000	36,047	36,047	0	75.1	100.0

収入済額の主なものは、高根財産区特別会計繰入金(高根団体会館維持管理費等高根財産区繰入金(中間払分)) 2,150 千円である。

イ 歳出予算執行状況(目別)

御殿場地域振興センターの歳出は会計年度任用職員の雇用経費のみであり、富士岡支所に一元管理されているため、記載を省略した。

富士岡支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	20,969,000	10,776,847	10,192,153	51.4

富士岡支所は、支所運営経費(地域振興センター及び各支所会計年度任用職員の報酬、職員手当等一期末手当、共済費—社会保険料)を一元管理している。

報酬は予算現額 13,247 千円、支出済額 6,429 千円、支出率 48.5%、職員手当等一期末手当は予算現額 2,298 千円、支出済額 967 千円、支出率 42.1%、共済費—社会保険料は予算現額 1,963 千円、支出済額 1,127 千円、支出率 57.4%である。

支所運営経費を除く支出済額の主なものは、庁舎管理費の需用費—光熱水費 744 千円、委託料 483 千円である。

原里支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	5,099,000	2,407,961	2,691,039	47.2

支出済額の主なものは、庁舎管理費の需用費—光熱水費 1,468 千円、委託料 679 千円である。

## 玉穂支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	23,647,000	6,014,911	17,632,089	25.4

玉穂支所は、庁舎管理費の使用料及び賃借料－土地借上料で玉穂支所用地土地借上料を計上している。予算現額 7,034 千円、未執行である。

土地借上料を除く支出済額の主なものは、庁舎管理費の需用費－光熱水費 1,849 千円、委託料 1,766 千円である。

## 印野支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	6,818,000	2,780,604	4,037,396	40.8

支出済額の主なものは、庁舎管理費の需用費－光熱水費 1,196 千円、委託料 997 千円である。

## 高根支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	5,761,000	1,805,118	3,955,882	31.3

支出済額の主なものは、庁舎管理費の需用費－光熱水費 887 千円、委託料 692 千円である。

## (4) 窓口事務の状況及び窓口現金の取り扱いについて

各支所の窓口事務の状況は、次のとおりである。

※御殿場地域振興センターは窓口事務を取り扱っていないため、記載を省略した。

(単位:件・円)

	証 明 関 係						税 務 関 係		異 動 関 係		斎 場 使 用 料		合 計		
	戸 籍 関 係	住 民 関 係	諸 証 明	印 鑑 関 係	広 域 関 係	小 計		件 数	金 額	住 民 異 動 関 係	戸 籍 届 出 関 係	件 数	金 額	件 数	金 額
						件 数	金 額								
富士岡	800	1,592	37	1,145	56	3,630	1,275,800	1,328	273,250	82	362	82	486,000	5,484	2,035,050
原 里	580	1,124	22	946	18	2,690	942,250	907	194,760	102	22	28	192,000	3,749	1,329,010
玉 穂	478	1,152	20	655	14	2,319	802,800	817	163,830	140	68	92	571,000	3,436	1,537,630
印 野	128	278	5	199	2	612	219,450	162	32,160	21	17	15	98,000	827	349,610
高 根	342	574	8	460	6	1,390	507,650	488	73,900	24	17	19	88,000	1,938	669,550
計	2,328	4,720	92	3,405	96	10,641	3,747,950	3,702	737,900	369	486	236	1,435,000	15,434	5,920,850

※証明関係の件数は無料分・公用分を含む。税務関係は筆ごとに1件とする。

また各支所は、市民課から窓口事務に係る釣銭資金として各 50,000 円を配分されている。この管理状況について聴取を行い、計数を実査した結果、適正に処理されていた。

各支所の地区集会施設使用料の収入状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	富士岡支所	原里支所	玉穂支所	印野支所	高根支所
使 用 料	47,500	58,990	36,250	2,160	59,800

(5) 郵券等の管理について

郵券及び郵券受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、原里支所・玉穂支所・印野支所・高根支所については、正確に記帳され、適正に管理されていた。富士岡支所については、郵便受払簿に一部記入誤りがあったため適正な管理を指導した。(御殿場地域振興センターは郵券等なし)

(6) 意見・要望事項

- ア 各支所窓口で取扱う手数料及び使用料等の公金について、適切に処理されていた。引き続き適正に管理されたい。
- イ 支所の窓口事務は、年々、多様化・複雑化しており、従来の戸籍や住民基本、税務等の業務にとどまらず、市の施策全般に係る新たな依頼事項(今年度は富士山 G コインやマイナポイント申請の手続き等)に係る事務負担の増大により、他の業務への影響が出ているところもある。窓口事務の経験のある職員の配置や、各担当課との情報共有、混雑時の応援体制の見直し等により、円滑かつ適切に対応できるよう努められたい。
- ウ 地区住民の年齢層や意識の変化等を背景として、各種団体の役員の担い手不足が続いており、関連事務に携わる職員の負担が大きくなっている。各種団体による自主運営を促しつつ、事業の見直しによる省力化の検討を行う等、職員の負担軽減に向け、引き続き取り組まれたい。

## 教育委員会教育部(中学校)

### 1 監査の対象

高根中学校

### 2 監査の結果

監査した結果、予算執行及び会計事務処理は適正に行われており、施設等の管理状況も概ね適正であった。指摘事項、指導事項はなかった。

#### (1) 予算の執行状況

高根中学校の令和4年度における予算の執行状況は、次のとおりである。

高根中学校

(単位:円・%)

科 目	配 当 予 算 額	支 出 済 額	支 出 率	予 算 残 額
学 校 管 理 費	1,697,000	728,967	43.0	968,033
学 校 運 営 経 費	994,000	470,726	47.4	523,274
施 設 管 理 費	403,000	66,368	16.5	336,632
施 設 整 備 費	300,000	191,873	64.0	108,127
特別支援学級諸経費	0	0	-	0
教 育 振 興 費	320,000	238,927	74.7	81,073
合 計	2,017,000	967,894	48.0	1,049,106

#### (2) 財産管理の状況

##### ア 施設等の管理

施設等については概ね適正に維持管理されていた。定期的に点検を実施して状態を把握し、生徒の安全確保に努められていた。

##### イ 備品等の管理

備品等について備品関係台帳及び寄付採納簿を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

##### ウ 郵券等の管理

郵券及び郵券受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

### (3) 防災・防犯対策等に係る状況

#### ア 防災対策

防災対策については、地震・火災等を想定した防災訓練を年間計画に基づき実施し、防災意識の啓発が図られていた。また、保護者への引き渡し訓練や予告なしでの訓練等の対応がとられていた。

#### イ 防犯対策

防犯対策については、防犯カメラの設置や危機管理マニュアルを作成するなどの対応がとられていた。

### (4) 個人情報保護に係る状況

個人情報保護について、シンクライアントシステム導入により、教職員に貸与されている PC 等からはデータの取り出しができない(USB メモリ等の接続が制限される)など、情報漏洩への対策が取られており、またタブレット端末の持ち帰りについては、持出簿の整備及び管理職が確認する体制ができていた。

### (5) 意見・要望事項

ア 学校徴収金等の現金・帳簿の管理については、複数人での管理体制が整っており、引き続き適正な管理に努められたい。また、未納・滞納者への対応についても、公平性を保つため、適切な収納対策に努められたい。

イ 配当予算が縮減傾向にあるが、生徒に不便や危険のないように、メリハリのある予算の調製と適正な執行に努められたい。

ウ 令和2年度から導入したタブレットの利活用について試行錯誤はあると思うが、IT のメリットを生かし学びの環境の充実に繋げられたい。

エ パソコン・タブレット端末の持ち帰りについては管理体制ができていたが、改めて個人情報の保護の徹底に努められたい。

オ 防災対策、防犯対策については、情報共有を図り今後も定期的に訓練を実施して、緊急時に円滑な対応を取ることができるよう努められたい。また、不審者対策については、警察及び地域とも連携して適切に対処されたい。

カ 特別な支援の必要な生徒が年々増加傾向にあり、対応に苦慮しているとのことだった。特別支援学級の設置や支援補助者の配置等、必要な体制を整えられるよう、関係機関との調整を継続されたい。

# 議会事務局

## 1 監査の対象

議事課

## 2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項はなかった。

### 議事課

当課は、課長以下 5 人で、議事・調査スタッフにより組織されている。

#### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・本会議事務
- ・議会だより編集事務
- ・全員協議会関係事務
- ・議事録作成事務
- ・三常任委員会事務
- ・議会運営委員会事務

#### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

##### ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
諸 収 入	680,000	730,000	730,000	0	107.4	100.0

収入済額の主なものは、議会ICT化推進事業タブレット端末使用料(議員分) 480 千円、議会改革活動負担金(議員分) 200 千円である。

##### イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支出率
議 会 費	22,894,000	12,307,494	10,586,506	53.8

※人件費を除く

事業別の執行状況は、議会活動経費(予算現額 12,059 千円、支出済額 8,144 千円、支出率 67.5%)、議会広報費(予算現額 3,034 千円、支出済額 1,404 千円、支出率 46.3%)、会議録作成費(予算現額 2,711 千円、支出済額 1,136 千円、支出率 41.9%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、議会活動経費の委託料 2,459 千円、議会広報費の需用費－印刷製本費 1,630 千円、会議録作成費の委託料 1,344 千円である。

### (3)前渡資金出納状況

前渡資金の出納状況については、例月現金出納検査(一般・特別会計)の帳票検査に合わせて関係帳簿等の確認を実施しており、適正に処理されていた。

前渡資金の出納状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	前渡資金額	精算額	返納額	未精算額
議長交際費	300,000	52,217	0	247,783
有料道路通行料(ETC)	130,000	61,200	0	68,800

### (4)意見・要望事項

- ア 明治大学とのパートナーシップ協定に基づき、情報交換、相互研修を行っているが、若者プロジェクト等も含め、引き続き議会改革を推進することで、議会機能の一層の充実を図られたい。
- イ 全国的にも議員のなり手不足が問題となっており、当市でも前々回は無投票であった。この対策の一環として、議会や議員活動への関心を高められるよう、政治塾等の取組みを継続されたい。
- ウ 政務活動費交付金について、他市町では不正につながっている事例も見受けられる。引き続き厳正な処理を行い、透明性の確保に努められたい。

## 会計課

### 1 監査の対象

会計課

### 2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項はなかった。

## 会計課

当課は、課長以下 9 人(うち会計年度任用職員 2 人)で、会計スタッフにより組織されている。

#### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・現金の保管・収納・支払事務
- ・支出負担行為書・支出命令書審査事務
- ・決算の調整に関する事務

#### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

##### ア 歳入予算執行状況 (款別)

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
分担金及び負担金	4,515,000	0	0	0	-	-
繰 入 金	180,000	0	0	0	-	-
諸 収 入	55,000	0	49,314	△49,314	90.0	-

収入済額は、歳計金預金利子 49 千円である。

##### イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

区 分	予算現額	支出済額	予算残額	支出率
会 計 管 理 費	10,871,000	4,020,258	6,850,742	37.0

事業別の執行状況は、会計管理事務諸経費(予算現額 10,871 千円、支出済額 4,020 千円、支出率 37.0%)で、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、会計管理事務諸経費の報酬 1,708 千円、役務費一手数料 3,268 千円である。

(3) 前渡資金出納状況

前渡資金について通帳、関係帳簿等を照合した結果、計数は一致し適正に処理されていた。前渡資金の出納状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	前 渡 資 金 額	精 算 額	未 精 算 額
水道料金口座振替	32,594,270	17,777,970	14,816,300
電気料金口座振替	133,888,351	105,742,457	28,145,894
電話料金口座振替	29,248,111	18,894,228	10,353,883

(4) 意見・要望事項

- ア 会計課内の金庫については、会計課以外にも窓口を持つ課や現金を預かった課が利用するが、長期間放置されることの無いよう金庫内の適正な管理に努められたい。
- イ 公金の取扱いに関し、市内金融機関から各種手数料の支払いや増額の要望を受けており、また総務省からも手数料の支払いについての通知が出ているとのことである。財政的負担の増加を伴うものであり、難しい課題ではあるが、他市町の動向も注視しつつ、対応の方向性について検討を進められたい。

## 消防本部

### 1 監査の対象

警防課

### 2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項はなかった。

### 警防課

当課は、課長以下 6 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、消防防災スタッフにより組織されている。

#### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・御殿場市消防団に関すること  
(消防団活動事業、消防団施設維持管理業務、消防団車両整備事業、消防団活性化対策事業等)
- ・耐震性貯水槽設置及び消火栓整備事業  
(40 m<sup>3</sup>耐震性貯水槽設置事業、水道管の布設及び布設替に伴う消火栓の新設・移設事業)

#### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

##### ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
県 支 出 金	137,000	81,470	81,470	0	59.5	100.0
繰 入 金	14,866,000	12,428,000	12,428,000	0	83.6	100.0
諸 収 入	11,963,000	534,000	534,000	0	4.5	100.0

収入済額の主なものは、5財産区特別会計繰入金 12,428 千円(消防団第1～5分団運営事業助成補助金等)である。

## イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
非 常 備 消 防 費	62,433,000	24,405,412	38,027,588	39.1
消 防 施 設 費	19,767,000	997,876	18,769,124	5.0

※人件費を除く

事業別の執行状況は、消防団運営事業(予算現額 17,891 千円、支出済額 17,611 千円、支出率 98.4%)、消防団施設等管理費(予算現額 15,598 千円、支出済額 5,280 千円、支出率 33.8%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、消火栓整備事業の負担金補助金及び交付金-負担金 16,149 千円、消防団員退職報償金の需用費-報償費 14,464 千円、消防団施設等管理費の修繕料 5,693 千円である。

## (3) 郵券等の管理について

郵券及び郵券受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

## (4) 意見・要望事項

ア 補助金については、その内容を十分に検討の上で交付を決定するとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるよう、引き続き指導されたい。

また、市民の安全・安心に関わる補助金であることから、交付にあたっては、地域的な不均衡が生じないように努められたい。

イ 消防団員の確保については、全国的にも厳しい状況と伺っている。報酬の引き上げ等で対応を図ったとのことだが、防災力向上のため、今後も団員確保の取組みを継続されたい。また、消防団員は市職員が多く、大規模災害時には団員としての出勤が困難となることも考えられる。機能別団員や常備消防職員の退職者を活用するなどの対策についても、引き続き取り組まれたい。

ウ 今年度から駿東支部消防操法大会を開催しないことが決定した。これにより消防団員の負担は軽減される一方、消防力の低下も懸念される。実践的な消防力が確保できるよう、訓練指導員による訓練や常備消防と連携した訓練等を継続されたい。

エ 道路交通法の改正に伴い、特に若年層では現在の消防車両(4.98t)の運転に準中型免許を取得する必要が生じるため、来年度以降は普通免許で運転できる 3.5t 未満の車両を購入することであった。消防車両については、財政状況等を考慮しながら、計画的な更新に努められたい。